

<その他に取り組む事例>

○地元小学生の農作業体験と伝統文化を支える活動

1. 集落協定の概要

2. 取組に至る経緯

片知穴洞集落は、美濃市中央部で板取川沿いに位置し、美濃和紙で知られる原材料の「こうぞ」の栽培を行っている。

美濃市こうぞ生産組合穴洞支部は、片知穴洞集落の住民で構成されている組合である。平成元年4月設立以来こうぞを生産してきたが、高齢化による生産量の減収と紙漉き職人の減少により収益が減り、組合を続けることが難しい状況だった。

そのような中、平成12年度から中山間地域等直接支払制度に取り組むため集落協定を締結し、共同取組活動を開始したことにより組合を続けることが可能となった。

3. 取組の内容

美濃和紙の原料となるこうぞを本交付金で整備した共同利用機械を活用して栽培し、毎年3月に美濃市内の紙漉き職人へ販売している。

また、毎年地元の小学生を対象にこうぞの収穫や皮むき作業を体験してもらい伝統産業に触れる機会を設けている。



【集落の風景】



【牧谷小学校との交流】

〔集落の将来像〕

- 耕作放棄地とならないよう担い手に農作業を委託する。
- 農業機械の過剰投資等による生産コストの増加を防ぐため、こうぞ生産組合を継続する。



〔将来像を実現するための活動目標〕

- 担い手を見つける。
- こうぞ生産組合を中心とした農地・農業用施設の維持管理・点検
- 学校教育と連携した児童の農業体験学習への取組

農業生産活動等

農地の耕作・管理（畑 1.8ha）

共同取組活動

水路・作業道の管理

- ・水路 0.4 km、年 2 回
清掃、草刈り

- ・道路 0.5km、年 2 回草刈り

共同取組活動

農地法面の定期的な点検

共同取組活動

多面的機能増進活動

周辺林地の下草刈り
（約 0.06ha、年 2 回）

共同取組活動

農業生産活動の体制整備

機械農作業の共同化
（農機具の共同利用 100%実施）

共同取組活動

多様な担い手の確保
（伝統産業に関する学校教育
との連携（地元の小学 4 年生
約 20 名を対象にこうぞの収
穫、皮むき作業の体験学習を
行う））

共同取組活動



集落外との連携

- 美濃市の上牧地区にこうぞ生産組合蔵生支部があり、こうぞの栽培方法等情報交換を行っている。

4. 今後の課題等

機械の共同利用を行ったことにより生産コストの縮減が図られ、将来の担い手の確保につながる小学生の農業体験学習を行うことで、世代を超えた交流を通じて集落全体の活性化が図られるように取り組んでいる。

集落の高齢化が著しく、こうぞ栽培を継続することが難しくなっているため、新たな担い手を見つけることが課題である。

〔第 2 期対策の主な成果〕

この集落協定を締結することにより、こうぞの栽培農地として継続できることとなった。

- 機械の共同化（当初1.8ha、H21実績1.8ha）
- 小学校と連携した農業体験学習（当初0名、H21実績22名）